

北陸技術交流テクノフェア 技術プレゼンテーション

研究機関、大学、企業の技術シーズが一堂に集結。新たな事業化、製品化の素材を一挙に披露！

10月19日(木)

場所：福井県産業会館1号館内特設ブース
定員：各20名 受講料：無料

建設 編

会場	B	<p>②③</p> <p>14:20～14:40 (独)建築研究所 ホルムアルデヒドの発生源を特定する 検知シートの開発 ～現場で簡易にホルムアルデヒド発生源を特定～</p>	<p>■ 特に受講いただきたい方 ■ 住宅・建築の設計事務所、建設・ 管理会社 建材の製造・販売会社、地方自治 体の住宅・建築関係部局</p>
		<p>シックハウス症候群の原因物質の一つとして、ホルムアルデヒドの影響が大きく取り上げられています。その対策として、室内濃度が高かった場合、どこから、あるいはどの部材から多く放散されているのかを知る必要がありますが、それを判断する簡単な方法がありませんでした。そこで、材料表面に設置することで、簡便に放散の度合いを判定することが出来る「ホルムアルデヒド検知シート」を開発しました。ここでは、その概要や用途、使い方を紹介します。</p>	
		<p>②④</p> <p>14:40～15:00 ふくい建築・都市環境材料研究会 ゼオライトとカルシウム系原料でつくる調湿材料 ～「安価でより多くの吸放湿量」をめざして～</p>	<p>■ 特に受講いただきたい方 ■ 内装建材製造施工 (左官・壁紙)</p>
		<p>調湿材料として、古来より珪藻土が日本の伝統的壁材料に使用され、シックハウス対策として見直されている他、近年は乾式工法に対応できるタイルやボード類が多く開発・販売されている。著者らは福井県川西地区にモルデナイトを含む凝灰岩が産出することに注目し、高機能調湿材料への展開について検討した結果、ケイ酸カルシウム水和物系でメソポアが多く優れた調湿機能を有する硬化体が得られたのでこれ等について紹介する。</p>	
		<p>②⑤</p> <p>15:00～15:20 (株)日興 常温硬化の液体ガラスを使った 表面保護・維持補修技術 ～液体ガラスで価値ある財を子供たちへ～</p>	<p>■ 特に受講いただきたい方 ■ 設計事業所、コンサルタント、建 設業全般</p>
		<p>トップコートとして耐久性の大幅な向上、汚れ防止、落書き防止、コンクリート中性化防止等、幅広く採用されています。タイル、石、コンクリート、外壁材、屋根材、トンネル、地下道等で高い効果を発揮します。</p>	
		<p>②⑥</p> <p>15:20～15:40 福井県雪対策・建設技術研究所 夏の熱を冬まで地中に保存して融雪 ～融雪面でも橋梁床版、放熱管、舗装の技術融合～</p>	<p>■ 特に受講いただきたい方 ■ 舗装業、橋梁メーカー、設備業、 土木建設業</p>
		<p>これまで地中熱交換杭は約70mと深かった。地盤の軟らかい平野部で施工しやすい20mの長さにして約1.5mの間隔に多数設置することで一つの巨大熱塊を作り、12月まで27℃をキープした。融雪面が太陽熱集熱面となることから融雪で実用化。また、融雪面では橋梁床版、舗装、放熱管、材料などの技術融合で熱抵抗を下げ、同時にコストを削減した。</p>	

《お申し込み・お問い合わせ先》 技術交流テクノフェア実行委員会
事務局：福井商工会議所 産業技術課 〒918-8580 福井市西木田2-8-1
TEL0776-33-8284 FAX0776-33-8288 info@technofair.jp



北陸技術交流テクノフェア 技術プレゼンテーション受講申込書

FAX 0776-33-8288

事業所名			TEL						
			FAX						
住所	〒 -								
受講者名					受講者名				
受講番号	②③	②④	②⑤	②⑥	受講番号	②③	②④	②⑤	②⑥

受講希望の番号に○印を付けて、お申し込みください (複数受講可)

※ご記入いただいた内容は、主催者及び福井商工会議所からの各種連絡・情報提供のために利用させていただくことがあります。